

スタートします！ みえ県民力ビジョン。 第三次行動計画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

県では、令和2年4月から4年間の戦略計画として「Society 5.0」と「SDGs」の新たな視点を取り入れた「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」を策定し、「三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会」の実現に向けた取り組みを県民の皆さんとともに展開していきます。今号では、その基本的な考え方を紹介します。

4月号 プレゼントクイズ

「？」に当てはまる文字を
教えてください。

スタートします！
みえ県民力ビジョン。
第？次行動計画

正解者の中から抽選で 5人に
特製伊賀くみひもキーホルダーをプレゼント！
(当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます)

応募締切 令和2年4月30日(木)到着分まで

応募方法 ハガキ、メール、マークの動画アンケートで住所、名前、電話番号、県政だよりの入手先、クイズの答え、県政だよりを読んだ感想をご記入のうえ、ご応募ください。*動画アンケートにご協力いただいた場合、2口分のご応募とさせていただきます。

〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
「県政だより4月号プレゼントクイズ」係
☒koho@pref.mie.lg.jp

注目情報 買い物に使えるお得な「マイナポイント」

マイナンバーPRキャラクター
マイナちゃん



マイナポイントとは、キャッシュレスによるチャージまたは買い物をすると、その金額の25%がポイントとして付与される制度です(累計で1人あたり5千円分が上限)。このポイントを得るには、マイナンバーカードの取得とマイナポイントの申し込みが必要です。

詳しくはこちら **マイナンバー総合フリーダイヤル(無料)**

0120・95・0178

※音声ガイダンスに従って、5番を押してください。

平日9時30分～20時/土日祝9時30分～17時30分



現在受付中

- ①マイナンバーカードの申請
- ②マイナポイントの予約
※マイナポイントの予約者数が予算の上限に達した場合には、マイナポイントの予約を締め切る可能性があります。
- 7月～令和3年3月末
- ③マイナポイントの申し込み
- 9月～令和3年3月末
- ④チャージや買い物でマイナポイント付与

早めの申請がおすすめ!

ポイントの利用時期が近付くとマイナンバーカードの交付申請が混み合い、申請から交付まで通常(1カ月)よりも時間がかかるが見込まれます。

マイナポイント 検索 地域連携部 地域連携総務課



三重県の真珠、ココがすごい!

三重県は真珠養殖発祥の地であり、真珠は「三重ブランド」にも認定されている、県を代表する特産品です。

注目ポイント

1. 世界初! 半円真珠養殖に成功!

1893年に御木本幸吉翁が半円真珠養殖に成功し、その後、真円真珠の養殖技術が確立され、英虞湾で真珠養殖産業が誕生しました。養殖業者数は全国1位(現在約300経営体)を占めています。



2. 国の日本農業遺産に認定!

世界に先駆けて真珠養殖が発達したことや、環境に配慮しながら高品質な真珠を生産してきたことなどが評価され、海女漁業とともに認定されました。



3. ベビーパール^①の生産が日本一!

県内では、ベビーパールまたは^{りんたま}と呼ばれる5mm未満の小さな真珠も生産されており、生産量は全国の99%以上を誇っています。



4. 伊勢志摩サミットで世界に発信!

県産真珠で製作したラペルピンが各国首脳の襟元を飾り、配偶者プログラムでは、真珠の取り出し体験を実施。これらを通して「真珠は、人間の営みと自然との共存のシンボル」というメッセージが世界に発信されました。



令和3年度に三重県志摩市で開催される「第9回太平洋・島サミット」でも県産真珠の魅力発信に取り組みます。

人の技術と自然が生みだすアコヤ真珠

真珠は、アコヤガイを育て始めてから約1年半から3年半という長い年月をかけて、ようやく収穫(浜揚げ)されます。



「アコヤガイ貝柱」は伊勢志摩の味覚!

真珠の収穫時期に入手できる貴重な食材。かき揚げや塩を振った串焼き、炊きこみご飯などの食材として人気です。



真珠を守り、広げる取り組みを進めています!

●生産と経営の安定に向けた取り組み ~2019年夏季に発生したアコヤガイ大量へい死への対策~

○被害軽減対策

冬季の海水温や餌環境がへい死に影響したと考えられたため、ICTパイによる水温と塩分のリアルタイムデータの提供や「真珠適正養殖管理マニュアルの作成、配布」を行いました。引き続き、被害防止対策に取り組んでいきます。



知事による現地視察

○経営支援対策

養殖業者の不安を解消するため、相談窓口を設置するとともに、被害により不足している稚貝の生産と供給、養殖業者が融資を受ける際の支援などを進めています。



英虞湾に設置したICTパイ

●日本をリードする真珠産地をめざして ~国内外に向けた真珠の魅力発信~

○PRイベントの開催

関係団体と連携し、首都圏などでの体験イベントや真珠講座の開催、海外でのPRなど、真珠の魅力発信に取り組んでいます。



真珠体験

○真珠体験ツアーの開催

里海泊事業推進協議会が中心となり、国内外の観光客などに向けた「真珠体験ツアー」が行われています。養殖現場の見学や真珠の取り出しなどが体験できます。

伊勢志摩 真珠体験 里海泊事業 検索

真珠の品質を決める主な要素

形 真円が最も評価されますが、個性的な形もほかの要素次第で価値が上がります。	キズ 養殖中に自然にできるキズは個性とする見方もあります。
光沢 表面だけでなく内面からの反射も関係し、虹色を伴う独特の輝きが発せられます。	色 真珠に含まれる色素や光の作用などにより、深みのある独特の色が生まれます。

写真提供: 日本真珠輸出組合

問い合わせ先 農林水産部 水産振興課 ☎ 059・224・2584 FAX 059・224・2608 ✉ suisan@pref.mie.lg.jp

食べよう「みえの安心食材」

環境に配慮した生産方法や、食の安全・安心を確保する生産管理など、基準を満たした生産物にマークを表示する制度を設けています。

三重の安心食材 検索

問い合わせ先 農林水産部 フードイノベーション課 ☎ 059・224・2395 FAX 059・224・2521 ✉ foods@pref.mie.lg.jp

将来に不安を感じることなく、安心して暮らせる

ライフステージに応じて多様な働き方ができる

家族の絆や地域のつながりを感じ、支え合って暮らせる

魅力あふれる地域に、愛着や誇りを感じながら暮らせる

第三次行動計画でめざす「三重の姿」

三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会

自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を
選択できる

目標に向かってチャレンジ
でき、失敗しても何度でも
挑戦できる

めざす仕事に就き、
いきいきと働ける

「三重の姿」の実現のために 県が取り組むこと

「守る」「創る」「拓く」の3つの柱で、政策を展開していきます。その一部をご紹介します。

守る ~命と暮らしの安全・安心を 実感できるために~

- 災害時の県民の適切な避難行動を促進
ICT(情報通信技術)などを活用しながら、「自助」「共助」の取り組みに必要な防災情報を迅速に提供します。
- 生きづらさを抱えている人を
包括的に受け止める社会づくり
ひきこもりなどで生きづらさを抱えている人が安心して生活できるよう、県、市町、関係機関などが連携し、相談支援体制の構築を進めます。

創る ~人と地域の夢や希望を 実感できるために~

- 知識を活用して新たな価値を
創り出す力を育成
子どもたちの先端技術を活用する力や論理的に考えていく力など、これからの社会で必要となる力を育むため、プログラミング教育などを活用した教育を推進します。
- 三重とこわか国体・三重とこわか大会の
開催に向け、オール三重で取り組み
を推進
両大会の成功に向けて、創意工夫を凝らしつつ、簡素・効率化を図るとともに、県民力を結集した大会となるよう、市町や競技団体などと緊密に連携し、県民の皆さんとオール三重で開催準備に取り組みます。

拓く ~強みを生かした経済の躍動を 実感できるために~

- Society 5.0時代の産業を創出
ICTやデータの利活用による産業振興を推進するほか、中小企業・小規模企業の強みを生かした新商品・新サービスの開発などを支援して生産性向上を図ります。
- 持続可能な移動手段の確保と
次世代モビリティの導入を支援
車を持たない高齢者などの円滑な移動を支援するため、自動運転などの新技術を活用した新たな移動手段の確保に向けた取り組みを市町などと進めるとともに、他地域への拡大を図ります。

各取り組みの相乗効果が高まるよう、「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」と「第2期「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体化し、量・質を重視した地方創生を進めます。

三重とこわか国体・三重とこわか大会
マスコットキャラクター とこまる

※1 Society 5.0…国の「第5期科学技術基本計画」において提唱された、最新テクノロジーを活用しためざすべき未来社会の姿のこと。

※2 SDGs…Sustainable Development Goalsの略で、2015年に国連総会で決められた、2030年までにめざすべき持続可能な17の開発目標のこと。

「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは
人口減少に関する課題に取り組み、地域の自立的かつ持続的な活性化を実現するために策定した県の総合戦略です。「活力ある働く場づくり」、「未来を拓くひとづくり」、「希望がかなう少子化対策」、「魅力あふれる地域づくり」の4つの対策に沿って地方創生の取り組みを進めていきます。

「みえ県民カビジョン」とは
「県民力めざす「幸福実感日本一」の三重」を基本理念に掲げ、平成24年からおおむね10年先を見据えて策定した、県政運営の基本姿勢や政策展開の方向性を示した県の戦略計画です。

県民の皆さんへ
県民の皆さんも一人ひとりがアクティブ・シチズン(自立し、行動する県民)として力を発揮していただき、ともに「幸福実感日本一」の三重をつくっていきましょう。

第三次行動計画は、ホームページでご覧いただけます。また、冊子版を6月より県庁や各県庁舎などで配布予定です。

検索

問い合わせ先 戦略企画部 企画課 ☎ 059・224・2025 FAX 059・224・2069 ✉ kikakuk@pref.mie.lg.jp

特集 スタートします! みえ県民カビジョン・第三次行動計画

第三次行動計画では、さまざまな立場の人が力を合わせて新しいものを生み出す「協創」や「新しい豊かさ」に加え、「Society 5.0」^{※1}と「SDGs」^{※2}の視点を取り入れています。

新型コロナウイルス感染症を含む

アプリを使う。知事にかざしてください。動画は令和2年5月27日(水)まで視聴できます。

感染症対策へのご協力をお願いします!

新型コロナウイルスに関する相談先

症状は?

新型コロナウイルス感染症は、熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を感じる方が多いことが特徴です。

どうやって感染するの?

飛沫感染・接触感染により感染すると言われています。

手洗い

- ✓ 流水でよく手をぬらしたあと、石けんを十分に泡立てる
- ✓ 爪や指の間、親指、手首の洗い忘れに注意
- ✓ 石けんを洗い終わったらしっかりと水で流し、清潔なタオルなどでよくふきとる
- ✓ 手指消毒剤を併用するとより効果的

咳エチケット

咳やくしゃみが出そうなときに…

- ✗ 手でかき止める
- ✗ マスクをする、ハンカチでおさえる
- 人から離れる、服の袖でおおう

日常生活

- ✓ 十分な睡眠をとる
- ✓ 栄養バランスのとれた食事を摂る
- ✓ 換気が悪く、人が密集する場所を避ける

飛沫感染

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後に触れた物などを介して、他の人の手にウイルスが付着し、その手で口や鼻を触り粘膜から感染します。

日常生活 十分な睡眠をとる 栄養バランスのとれた食事を摂る

問い合わせ先 医療保健部 新型コロナウイルス感染症対策チーム ☎ 059-224-2344 ✉ yakumus@pref.mie.lg.jp

県内設置されている帰国者・接触者相談センター

桑名保健所: 0594-24-3625 伊勢保健所: 0596-27-5137
 鈴鹿保健所: 059-382-8672 伊賀保健所: 0595-24-8070
 津保健所: 059-223-5184 尾鷲保健所: 0597-23-3428
 松阪保健所: 0598-50-0531 熊野保健所: 0597-89-6115
 四日市市保健所: 059-352-0594

一般的なお問い合わせは

新型コロナウイルス感染症相談窓口
 TEL: 059-224-2339 (9時~21時土日祝も対応)
 下記問い合わせ先のファクスまたはメールでも受け付けています。 三重県 コロナウイルス 検索

みえの未来 につながる、人や団体の取り組みを紹介しします。

伊賀くみひもの伝統をつなぎ、可能性を広げる

お仕事について教えてください

国の伝統的工芸品である「伊賀くみひも」には、糸を「染める」「撚りをかける」「取り分ける」「組む・仕上げる」という工程があり、その中の糸を取り分ける「経尺」という工程が私たち兄弟の主な仕事です。



伊賀市 伊賀くみひも職人

まつしま けんた 松島 健太さん(左)、こうき 康貴さん(右)

すべての工程を地元でしており、昔は内職などでも多くの方が携わる身近な仕事でした。しかし、今では職人が少なくなり、特に糸染めは次の代がないため、自分たちでもできるよう教わっています。また、伊賀



「経尺」とは、作る物に必要な糸の量や長さを計算し、組むまでの準備をすること。

くみひもを人に伝えるには、まず自分たちが詳しくないといけないので、今は全工程を2人で勉強中です。さらに、多くの人に伊賀くみひもを知ってもらうため、異業種の職人同士の勉強会への参加やSNSでの発信など、自分たちでできることにも取り組んでいます。

大切にしていることは何ですか

伝統を守りながら、可能性を広げることです。基礎の工程は2人で修行しながら、「伝統を守ること」と「使い方の間口を広げること」を兄弟で分担しています。着物の帯締めなどに使われることが多い伊賀くみひもですが、間口を広げるために、家具の引き戸やジャンパーの装飾などに使ったことがあります。



今後、品物の特徴や使う場所などを考慮した紐を提案しながら、商品に伊賀くみひもを取り入れたいという人の要望に応えられる紐をこれからも作っていきたくですし、伊賀くみひもを生活の中で身近に感じてもらえるよう、もっと提案のレパートリーを増やしていきたいです。



時計のベルトやネクタイなど、店内には可能性を感じる商品も。

三重には、食べ物や名所など、全国レベルの知名度を持つものがたくさんあります。伊賀くみひもも、多くの方が身近に感じ、地元や三重の人たちが誇らしく自慢に思える存在にしていきたいです。

松島組紐店の4代目として、国指定の伝統的工芸品である伊賀くみひもを、兄・健太さんと弟・康貴さんとで継承中。

イベントなどは急遽中止や延期となる場合があります。詳細は、各問い合わせ先へお願いします。三重県 お知らせ イベント 相談窓口

お知らせ

4月はいじめ防止強化月間です

【期間】4月1日(水)～30日(木)
社会総がかりでいじめの問題を克服するために、すべての人が、いじめは絶対に許されないことだと認識し、いじめから子どもたちを守りましょう。
【問】教育委員会事務局 生徒指導課
☎059-224-2372 FAX 059-224-3023

令和2年春の全国交通安全運動

【期間】4月6日(月)～15日(水)
4月は、新入学、就職シーズンのため、人や車の動きが大きく変化することから、交通事故の多発が懸念されます。交通ルールを守って交通事故に十分に注意しましょう。
【問】警察本部 交通部交通安全企画課
☎059-222-0110 (代)

潮干狩りを楽しむ皆さんへ

県では、小さいアサリとハマグリは採捕や、漁業者以外の「じょれん」の使用などが禁止されています。ルールを守って、潮干狩りを楽しみましょう。
【問】農林水産部 水産資源管理課 潮干狩り 三重県規則
☎059-224-2588 FAX 059-224-2608

「緑の募金」にご協力をお願いします

4月15日から5月14日は緑の月間です。「緑の募金」は緑化や森づくりなどに役立てられています。街頭・自治会・学校・職場などでの募金活動に、ご協力をお願いします。
【問】公益社団法人 三重県緑化推進協会 ☎059-224-9100

イベント

企画展「没後40年 宇田荻邨展」

【期間】4月18日(土)～5月31日(日)
【場所】県立美術館 企画展示室
【料金】要観覧料 ※高校生以下無料
松阪市に生まれ、京都画壇を代表する日本画家の没後40年の展覧会を開催します。
【問】県立美術館 三重県立美術館
☎059-227-2100 FAX 059-223-0570



夕涼 1956年 京都国立近代美術館蔵

企画展「名所発見、再発見! ~浮世絵でめぐる三重の魅力~」

【期間】4月18日(土)～6月14日(日)
【場所】県総合博物館 企画展示室
【料金】要観覧料 ※高校生以下無料
今も昔も旅の楽しみの一つ、名所めぐりの魅力を、三重の浮世絵を中心に紹介する企画展を開催します。
【問】県総合博物館(MieMu)
☎059-228-2283 FAX 059-229-8310



二見ヶ浦の光景 歌川国芳作

こいのぼりがいっぱい!!

【期間】4月24日(金)～5月10日(日)
※雨天や休館日も見学できます
【場所】県総合文化センター内 メインエントランス、祝祭広場・知識の広場
【料金】無料(見学自由)
県総合文化センターの空を、県内外の皆さんから提供いただいた150匹を超えるこいのぼりが泳ぎます。
【問】県総合文化センター 三重県総合文化センター
☎059-233-1105 FAX 059-233-1106



相談窓口

いじめ電話相談 ☎059-226-3779
【受付時間】毎日24時間
いじめに関することについて、電話で相談できます。
くすりの相談テレホン ☎059-228-1113
【受付時間】平日9時30分～16時30分 ※祝日・年末年始を除く
くすりの効能効果、飲み合わせ、飲み方・使い方、くすりに関する心配ごとなどについて電話で相談できます。
くすりの相談テレホン

スマホやタブレットをかざすと **動画が見られます!**

- まずはアプリ「アリエAR」をダウンロード!
- アプリを起動し、赤マークがついた箇所にかざす
- スキャン後動画が始まります

右記二次元コードよりダウンロードください

みえのいいとこ!

みえこどもの城

館内には、プラネタリウムが人気のドームシアターや、小学1年生から遊べるクライミングコーナーをはじめ、展示、工作などさまざまなスペースがいっぱい。「遊ぶ」「学ぶ」「ふれあう」をテーマにさまざまな体験が楽しめます。
【住所】松阪市立野町1291 中部台運動公園内
☎0598-23-7735

アプリを使って、コーナーにかざすと動画が見られます
動画は令和2年5月27日(水)まで視聴できます。



県民の皆さんへ 感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の基本は
「石けんやアルコール消毒液などによる手洗い」や
「正しいマスクの着用を含む咳エチケット」です
一般的なお問い合わせは ☎059-224-2339
新型コロナウイルス感染症相談窓口 ☎059-224-2339

編集・発行 / 三重県広聴広報課

「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。
〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
☎059-224-2788 FAX 059-224-2032 ✉koho@pref.mie.lg.jp
県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

次号のお知らせ 5月号は5月3日(日・祝)に新聞折込予定です。

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。
この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インクをVEGETABLE OIL INKを使用しています。

●お知らせやイベント情報は、県のフェイスブックやツイッターでも配信しています。●「県政だより みえ」は、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。

広告 160有余年の信用と実績 お葬式/家族葬は光倫会館へ

株式会社 **らっぴや本店**
光倫会館
経済産業大臣認可 全日本葬祭業協同組合連合会加盟
家族葬から社葬まで、安心の24時間365日受付
通話無料 **0120-114248**
本社 / 四日市光倫会館 ☎510-0836 四日市市松本町北大谷2015 [TEL] 059-351-1151
光倫会館 桜ホール ☎512-1211 四日市市桜町6613 [TEL] 059-325-2482
富田光倫会館 ☎510-8014 四日市市富田2丁目37 [TEL] 059-361-2481
津光倫会館 ☎514-0051 津市納所町47-3 [TEL] 059-228-1151

広告 低予算でマンガが作れる! 企業様応援セール実施中! マンガ制作ならマンガ工房へ

広告・ウェブ用の **マンガ制作**
伝わりやすい わかりやすい! ストーリー漫画 4コマ漫画 ハイクオリティ
35,000円~ 21,000円~ うれしい低価格
ご注文の流れ STEP0 お見積り STEP1 メールにてお打ち合わせ STEP2 お支払い
STEP3 下書き・ラフ案決定 STEP4 清書・着色仕上げ STEP5 微修正 納品
オリジナル漫画制作 **マンガ工房**
大阪府高槻市城北町一丁目14-17-502
まずはお気軽にお問い合わせください!
☎072-668-3275

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1401)までお問い合わせください。